

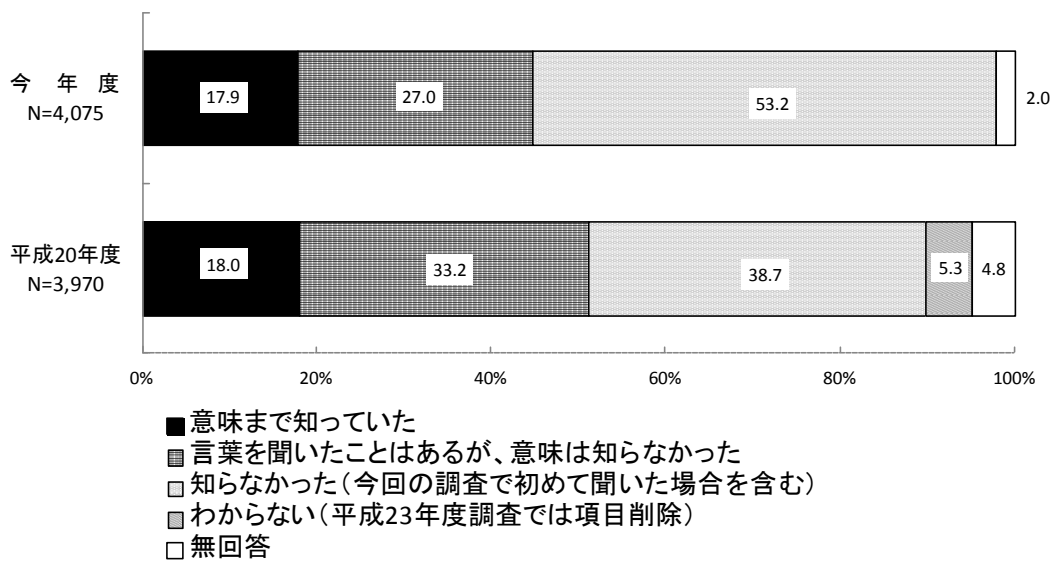
8. ユニバーサルデザイン

8-1. 「ユニバーサルデザイン」の認知度

Q 8-1 「ユニバーサルデザイン」とは、年齢、性別、身体（障害の有無、左利き等）など人々が持つさまざまな特性や違いを認め合って、はじめから、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した建物、製品、サービス等のデザインにしていこうとする考え方です。

あなたは、この「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていましたか。

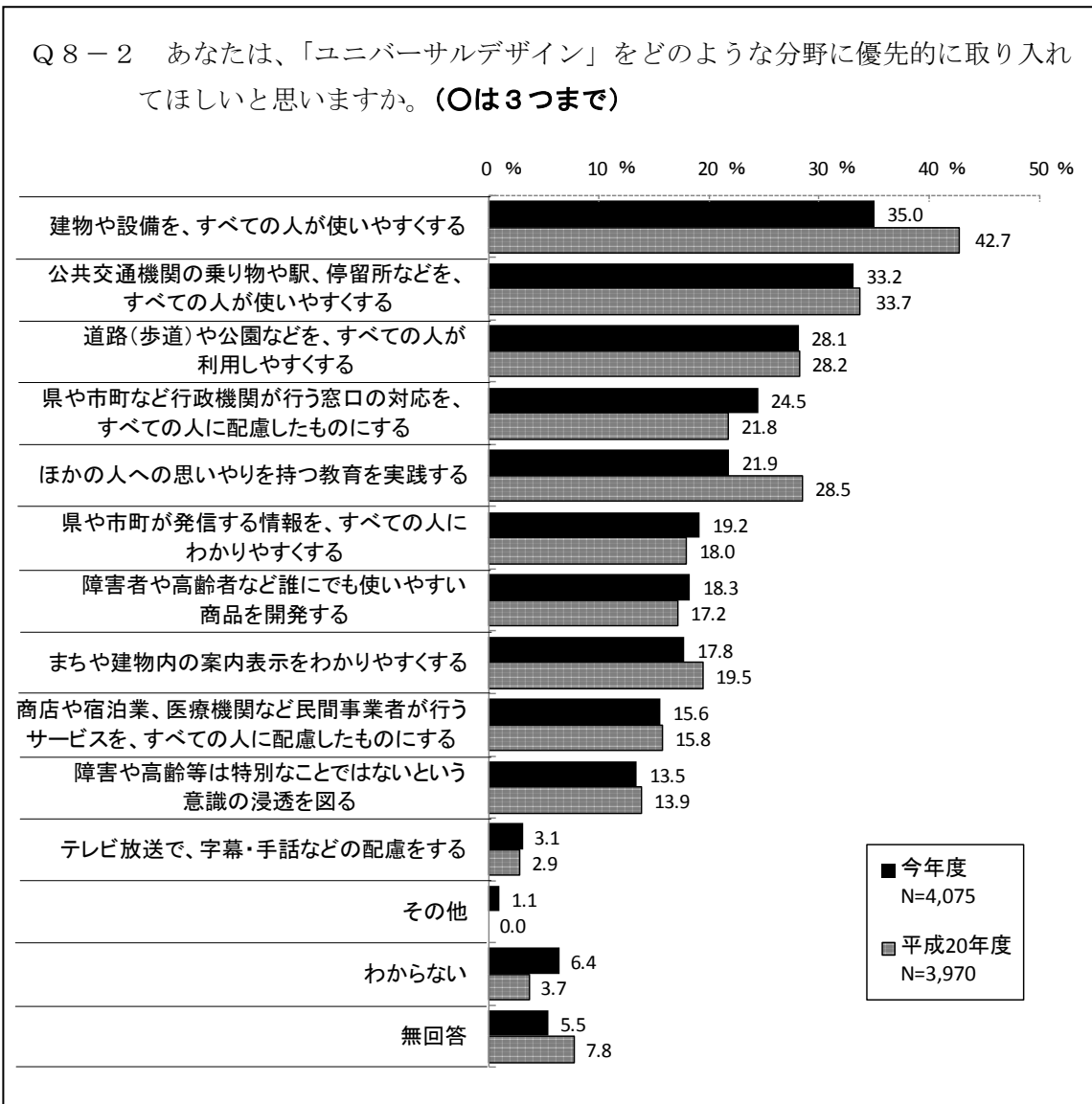
(○は1つ)



「ユニバーサルデザイン」の認知度について、「知らなかった（今回の調査で初めて聞いた場合を含む）」が53.2%と最も高く、「意味まで知っていた」は17.9%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」は27.0%となっている。平成20年度と比較すると、「知らなかった（今回の調査で初めて聞いた場合を含む）」が9.2ポイント上昇（※）、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が6.2ポイント低下している。

※平成23年度調査の「知らなかった（今回の調査で初めて聞いた場合を含む）」と、平成20年度調査の「知らなかった（今回の調査で初めて聞いた場合を含む）」及び「わからない」を合わせたものを比較した。

8-2. 「ユニバーサルデザイン」を優先的に取り入れてほしい分野



「ユニバーサルデザイン」を優先的に取り入れてほしい分野について、「建物や設備を、すべての人が使いやすくする」が35.0%と最も高く、次いで「公共交通機関の乗り物や駅、停留所などを、すべての人が使いやすくする」(33.2%)、「道路(歩道)や公園などを、すべての人が使いやすくする」(28.1%)、「県や市町など行政機関が行う窓口の対応を、すべての人に配慮したものにする」(24.5%)、「ほかの人への思いやりを持つ教育を実践する」(21.9%)などの順となっている。平成20年度と比較すると、「県や市町など行政機関が行う窓口の対応を、すべての人に配慮したものにする」が2.7ポイント上昇しているが、「建物や設備を、すべての人が使いやすくする」が7.7ポイント、「ほかの人への思いやりを持つ教育を実践する」が6.6ポイント低下している。